

難しくないない！だってもともと娯楽だもん。

聞いてみ

やってみ

小学生の
みなさんへ

狂

言

ワーク ショップ

小学校6年生の国語の教科書に、伝統文化に親しむ目的で狂言「柿山伏」が掲載されています。狂言の成り立ちや、狂言独特の動作（すり足や笑い方）を聞いてみて、体験してみて「狂言」をより気楽に楽しむ、小学生のためのワークショップです。

平成28年2月6日(土) 13:30~15:30

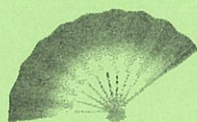
- ◆会場 東近江市立八日市文化芸術会館
- ◆講師 茂山宗彦（しげやまもとひこ）さん
- ◆対象 小学生のみなさん（保護者見学可）
- ◆定員 20名（定員になり次第しめきり）
- ◆参加費 500円
- ◆持ち物 足袋または靴下
- ◆申込み方法 電話またはメール

●宗彦さんプロフィール

大蔵流狂言方茂山千五郎家の若手狂言師、四歳の時「伊呂波」で初舞台、その後「釣狐」「花子」を被く、2014年には京都府文化奨励賞受賞、テレビドラマやミュージカルでも活躍

●柿山伏（かきやまぶし）あらすじ●

修行帰りの山伏さん、お腹が減りすぎて道端の柿の木に登って勝手に柿を食べていたところ、柿の木の持ち主に見つかってしまいました。「ちょっとさからってやろう！」と「あそこにいるのはカラス、カラスなら鳴くはず」と言って山伏に鳴きまねをさせます。「カラスではなくサル、サルなら…」と次々に鳴きまねをさせます。さて、お話の結末は…



〒527-0054 東近江市青葉町1-50

東近江市立八日市文化芸術会館

☎0748-23-6862 IP/ 0505-801-6862 ✉ bungei@higashiomi-j.com

◆主催 公益財団法人東近江市地域振興事業団 ◆後援 東近江市・東近江教育委員会